

第1回 PSLX コンソーシアム技術専門委員会 議事録

日時：2006年7月5日（水）10:00～18:00

場所：MSTC（製造科学技術センター）会議室

出席者（敬称略）

西岡 靖之（法政大学）、松川 信也（日立製作所）、王 喜宏（富士電機システムズ）、
川内 晟宏（プロセス経営研究所）、南口 雅也（エムツーエム）、小松 昭莫（技術データ管理支援協会）、
手島 歩三（技術データ管理支援協会）、原田 騎郎（オージス研）、岡田 史弘（岩井機械工業株式会社）、
岡宗 秀一（製造技術科学センター）、児玉 公信（エクサ）、上田 絢子（書記・法政大学） 12名

資料

- ①第4部：ドメインオントロジー Working Draft - Version 2 (2006/04/26 更新) web 配布
- ②第5部：共通XMLスキーマ Working Draft - Version 2 (2006/04/26 更新) web 配布
- ③第6部：共通RDBスキーマ Working Draft - Version 3 (2006/04/26 更新) web 配布
- ④技術資料2：MES 連携事例 作業ドラフト版 Version 1(2006/07/05 更新)
- ⑤MINUTES of ISO/IEC SC 65A/JWG 15 meeting (JWG 15 N128)
- ⑥技術専門部会検討用資料（XML スキーマ、オントロジーとオブジェクト、PSLX RDB スキーマ）
- ⑦MESX 仕様書

議事内容

（午前）

(1)報告

- * 6月14日からイタリアで行われた国際会議 JWG15 の報告がされた。
- ・APS ベンダーについての議論があったかどうか、との質問が出た。

(2)第5部の議論（技術専門部会検討用資料 XML スキーマ）

- * 全体の説明がされた。
- * p4 ・ResourceRecord に材料は含まれるのかという意見があり、材料は ItemRecord に含まれることを確認した。
- ・Order と Record は分ける必要性があるのか、という意見があった。
- ・Message documents はどういう位置づけなのか、という質問がされた。
- * 全体・業界ごとに EDI とつながる枠組みがあることが確認された。
- ・XML スキーマをどう使っていくかという意見があった。

第4部の議論（技術専門部会検討用資料 オントロジーとオブジェクト）

- * 全体の説明がされた。
- * p3 ・トランザクションとファザードが同じ軸にあるのはどうか、という意見が出た。
ファザード→業務プロトコルに変更した。
- ・XML スキーマはインターフェースとして記述すべき、XML スキーマはサブクラスではない、という意見が出た。

- ・ p3 の図で何を基準にしていくか、という意見が出た。
→パート 3 が基準になることを確認した。
- * p4 ・設計は個人の自由なのでルールを設ける必要がないという意見が出た。
 - ・実装の必要性が見える必要があるかないか、内部仕様の定義はしなくていいか、ベンダーとしては内部構造を公開するのは難しい、など議論となり次回また検討することになった。
- * p6 ・クラスの等価変換が正しいかどのように証明できるのか、文章で「○○のようになっていればいい」という記述が必要だ、という意見が出た。

(午後)

第 6 部の議論 (技術専門部会検討用資料 PSLX RDB スキーマ)

- * 全体の説明がされた。
- * p6 ・ファミリーはある品目に対してひとつしか指定できないことが確認された。
 - ・擬似品目が使われるのはどのようなときなのか、確認された。
 - ・代替品オプションはファミリーではないという意見が出た。
- * p7 ・選択ルールはプロセスによらないことが確認された。
- * p10 ・受注オーダーは生産オーダー、在庫オーダー、能力オーダーを含むことが確認された。
 - ・受注オーダーの分類の議論がされ、あまり明確に分けずに属性を追加しそれによって受注か発注を分ければよい、ということが確認された。
- * p13 ・在庫計画は点でみていくのか期間でみていくのか議論された。「計画というのは期間に対する意思決定で、在庫計画を期間で考えるとラフになってしまう」、「期間を点の集まりとして見る事が出来る」などさまざまな意見が出された。
 - ・発行したオーダーの合計を見たとき発行実績と呼ぶのか発行計画と呼ぶのか、という意見から計画とオーダーの定義で議論となり、計画とオーダーの二本立てにして「計画」を使いたい人は使い、使いたくない人は使わなくていいようにすればいい、ということが確認された。
 - ・計画 (細かいディテールが分からない) は期・区間、オーダー (細かいことが分かったら) は点であることが確認された。
 - ・第 3 部の p14 図 4-4 の生産計画、在庫計画、能力計画は製品の性質の違いによって、いろいろなこともあるのではないかという意見が出た。
- * p22 ・ペギングの定義が議論された
- * p14 ・生産プロセスとプロセスの違いがあるのかという意見が出せれ、この p14 と第 3 部の「プロセス」が「生産プロセス」に変えられた。
 - ・消費資源の定義が確認された。
- * p16 ・実行指示 (instruction) = Task とし、実行指示と計画タスクが同じであることが確認された。
 - ・第 3 部の p40 図 8-8 での「実行指示」に対して、「予定タスク」は 1 対 1 であることが確認された。
 - ・第 3 部の p40 図 8-8 の実装モデルは製造資源と実行指示以外は消えることが確認された。
 - ・実行指示はこうやるときはこうやるんだという指示であり、Insutruccion Oder という言葉はおかしいのではないか、という意見が出た。
 - ・パート 3 p5 の表 3-1 にはタスクは出てこないことが確認された。

- ・作業指示、実行指示の名前について同じオーダレベルとしてまとめたほうが分かりやすいという意見が出た。

(3)話題提供 ④技術資料2：MES連携事例について児玉さんより

- *全体の説明がされた。
- * p 15・レシピとボムの違いについて質問が出され、レシピは「温度を何度に保て、圧力は…」、など細かく説明したものであるという説明がされた。
- * p 25・イベントを通知する際に理由も含まれるのかという意見があったが、現段階では含まれていないので、今後入れるか検討することとなった。
- *全体・フェーズ2はいつからなのか意見が出た。
 - ・一度、技術資料2を完成させ、10、11月を目標に仮リリースをすることが確認された。

次回予定

- 8月2日 アドホック会議 10：00より UNISIS（豊洲）にて開催
- 9月6日 第2回技術部会 10：00より MSTCにて開催

以上